

証券コード：3088

株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス

目次

P1	トップメッセージ
P3	四半期連結財務諸表
P4	配当に関するご案内
P5	グループネットワーク
P7	トピックス
P8	CSR活動
P9	株式に関するご案内
P10	株式の状況・会社概要

株 主 の 皆 様 へ

第4期 第2四半期報告書

平成22年4月1日 ▶ 平成22年9月30日



Matsumoto KiYoshi
Holdings

トップメッセージ

株主の皆様へ



代表取締役社長兼COO
吉田 雅司

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り心より厚く御礼申し上げます。

当社の第4期第2四半期連結累計期間（平成22年4月1日から平成22年9月30日）の振り返りと第3四半期以降の取り組みについてご説明申し上げます。

2016年3月期、グループ

■第4期第2四半期連結累計期間の振り返り

第4期第2四半期連結累計期間における日本経済の状況は、国内の一部産業に持ち直しの兆しが見られたものの、円高が急速に進行し、株価も低迷するなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

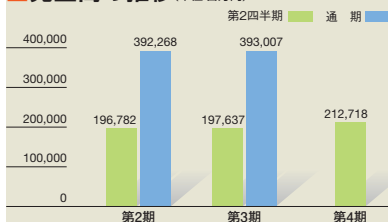
ドラッグストア業界におきましても、このような経済環境から消費マインドの冷え込みは継続しております。また、花粉飛散量の減少による関連商品の不振、前年流行した新型インフルエンザ関連商品の特需による反動など、一層厳しい環境となりました。

このような環境のなか、当社グループは、スケールメリットを活かした、お客様に満足していただける価格の提供、魅力あるプライベートブランド商品の開発と拡充、高い専門性による美と健康に関するトータルのソリューションの提供など、お客様にとって一番身近な、一番頼れる店舗の実現に向けた各種施策を推進してまいりました。

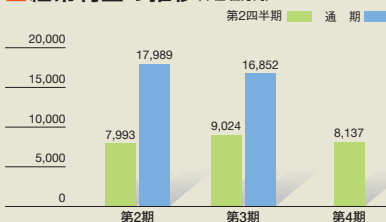
その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高2,127億18百万円（前年同期比7.6%増）、営業利益71億32百万円（同11.1%減）、経常利益81億37百万円（同9.8%減）となり、第1四半期連結会計期間より「資産除去債務に関する会計基準」の適用にかかる特別損失を計上したことなどから、四半期純利益18億59百万円（同61.4%減）となりました。

第2四半期連結財務ハイライト

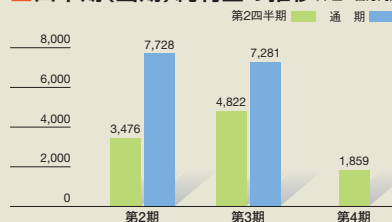
■売上高の推移(単位:百万円)



■経常利益の推移(単位:百万円)



■四半期(当期)純利益の推移(単位:百万円)



売上高1兆円、2000店舗の実現に向けて

■第3四半期以降の取り組みについて

第4期第2四半期連結累計期間の結果を踏まえ、第3四半期以降における当社グループの重要な施策は、①効率性の向上、②利便性の向上、③規模の拡大、④専門性の向上、の4つの項目を全てにおいてバランスを取りながら課題解決に取り組んでまいります。

①効率性の向上

ローコスト経営への体質改善を図るために、店舗オペレーションの改善などによるローコスト化、コスト削減などの成果実現をリードできる人材の育成、地域に密着した販売促進施策を展開するMDの再構築を主な施策として取り組み、効率性を向上してまいります。それにより、販売管理費を低減させ、営業利益率の改善に努めてまいります。

当社グループ内の「ヒト、モノ、カネ、情報」あらゆる経営資源を見直し、ローコスト化を推進してまいります。

②利便性の向上

お客様の目線に立ち、小商圏での多様なニーズにお応えしていくために、お客様の利用時間に合わせた営業時間の延長、買いやすさ・選びやすさ・使いやすさへ対応したネット通販、健康で快適な生活の

実現や高齢化社会に向けた新業態開発を主な施策として取り組み、地域への密着を図ってまいります。今後は、高齢化社会やその他の付加サービスにも対応していくことにより、お客様に、心からご満足いただけるサービスを提供できるよう努めてまいります。

③規模の拡大

当社グループの将来ビジョンの実現に向けて、新規出店、M&A、フランチャイズを主な柱として、規模の拡大を図ってまいります。

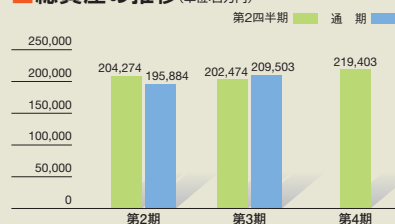
④専門性の向上

お客様に「安心」と「信頼」を提供し続けるために、調剤併設店舗の拡充、カウンセリング販売のレベル向上、お客様の「安全・安心」を追及した商品の開発と品質管理体制を強化し、高い専門性に磨きをかけてまいります。それにより、収益性の向上と競合他社との差別化を図ってまいります。

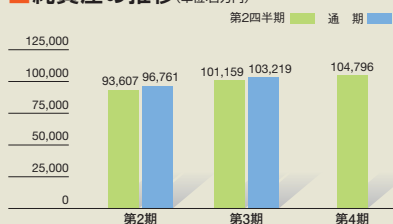
平成22年12月

代表取締役社長兼COO 吉田 雅司

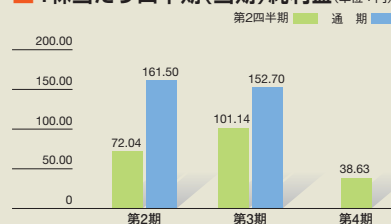
■総資産の推移 (単位:百万円)



■純資産の推移 (単位:百万円)



■1株当たり四半期(当期)純利益 (単位:円)



四半期連結財務諸表

● 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前期末 平成22年3月31日現在	当第2四半期末 平成22年9月30日現在
資産の部		
流動資産	90,954	96,977
現金及び預金	11,895	13,329
売掛金	10,703	10,529
商品	55,248	58,340
貯蔵品	1,368	1,631
その他	11,806	13,213
貸倒引当金	△68	△67
固定資産	118,549	122,425
有形固定資産	60,490	62,536
土地	41,657	41,512
その他	18,832	21,024
無形固定資産	9,503	10,431
のれん	6,369	7,402
その他	3,133	3,029
投資その他の資産	48,555	49,457
敷金及び保証金	35,012	35,456
その他	14,541	15,016
貸倒引当金	△998	△1,015
資産合計	209,503	219,403

科 目	前期末 平成22年3月31日現在	当第2四半期末 平成22年9月30日現在
負債の部		
流動負債	86,449	84,578
支払手形及び買掛金	55,141	58,291
短期借入金	8,569	1,040
1年内償還予定の社債	—	24
1年内返済予定の長期借入金	5,218	6,502
未払法人税等	4,664	4,046
賞与引当金	2,505	2,734
ポイント引当金	1,804	2,702
資産除去債務	—	39
その他	8,545	9,197
固定負債	19,835	30,028
転換社債型新株予約権付社債	—	15,000
長期借入金	11,086	1,599
退職給付引当金	4,474	4,899
役員退職慰労引当金	57	—
資産除去債務	—	3,817
その他	4,216	4,711
負債合計	106,284	114,606
純資産の部		
株主資本	102,782	104,534
資本金	21,086	21,086
資本剰余金	21,866	21,866
利益剰余金	74,660	75,338
自己株式	△14,830	△13,756
評価・換算差額等	△915	△1,171
その他有価証券評価差額金	△915	△1,171
新株予約権	—	8
少数株主持分	1,352	1,425
純資産合計	103,219	104,796
負債純資産合計	209,503	219,403

グループネットワーク

■ネットワーク（平成22年9月30日現在）

株式会社マツモトキヨシホールディングス				
小売事業会社	株式会社マツモトキヨシ	(本社) 千葉県松戸市	株式会社ばばす	(本社) 東京都墨田区
	株式会社エムケイ東日本販売	(本社) 宮城県仙台市	株式会社ミドリ薬品	(本社) 鹿児島県鹿児島市
	株式会社マツモトキヨシ甲信越販売	(本社) 長野県岡谷市	株式会社トウブドラッグ	(本社) 埼玉県越谷市
	株式会社ラブドラッグス	(本社) 岡山県岡山市	株式会社中島ファミリー薬局	(本社) 長野県須坂市
卸売事業会社	伊東秀商事株式会社	(本社) 千葉県松戸市	株式会社茂木薬品商会	(本社) 東京都文京区
その他の事業会社	株式会社エムケイブランニング	(本社) 千葉県松戸市	株式会社マツモトキヨシ保険サービス	(本社) 千葉県柏市
	株式会社ユーカリ広告	(本社) 千葉県柏市		

■グループ会社（小売事業会社）



（株）マツモトキヨシ



（株）ばばす



（株）エムケイ東日本販売



（株）ミドリ薬品



（株）マツモトキヨシ甲信越販売



（株）トウブドラッグ



（株）ラブドラッグス



（株）中島ファミリー薬局



Matsumoto KiYoshi
Holdings

株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス

店舗総数
1,186店舗
(2010年9月30日現在)

株式会社中島ファミリー薬局

Nakajima

甲信越エリア…13店舗

甲信越エリアに
13店舗展開

株式会社マツモトキヨシ甲信越販売

マツモトキヨシ 甲信越販売

甲信越エリア…62店舗
北海道・東北エリア…1店舗

東北・甲信越エリアに
63店舗展開

エリアを色別に表示しています

- 北海道・東北エリア
- 関東エリア
- 東海エリア
- 甲信越エリア
- 北陸エリア
- 関西エリア
- 中国エリア
- 四国エリア
- 九州・沖縄エリア

株式会社マツモトキヨシ

マツモトキヨシ

全国に
672店舗展開

関東エリア…549店舗
東海エリア…21店舗
関西エリア…51店舗
中国エリア…7店舗
四国エリア…4店舗
九州・沖縄エリア…40店舗

株式会社エムケイ東日本販売

エムケイ東日本販売

北海道・東北エリア…25店舗
関東エリア…64店舗
甲信越エリア…7店舗
北陸エリア…3店舗

東北・関東エリアを中心に
99店舗展開

株式会社ぱぱす



関東エリア…131店舗

関東エリアに
131店舗展開

株式会社ラブドラッグス



関西エリア…5店舗
中国エリア…36店舗

関西・中国エリアに
41店舗展開

株式会社トウブドラッグ



関東エリア…31店舗

関東エリアに
31店舗展開

株式会社ミドリ薬品



九州・沖縄エリア…136店舗

九州・沖縄エリアに
136店舗展開

トピックス

株式会社ラブドラッグスの子会社化

当社は、平成22年4月1日をもって株式会社ラブドラッグスの子会社化いたしました。

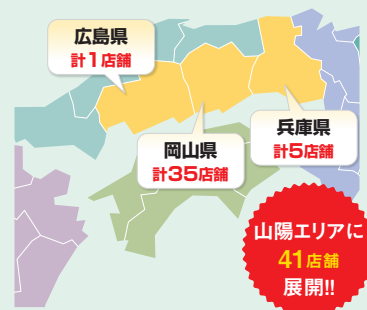
株式会社ラブドラッグスは、昭和59年6月に設立され、岡山県を中心に山陽エリアに41店舗（平成22年9月30日現在）のドラッグストアを運営しております。

これまで、同社とは、当社の完全子会社である株式会社マツモトキヨシと平成17年10月1日に業務資本提携に関する基本合意に達し、平成18年10月4日に同社の発行済み株式数の20%を取得し、持分法適用会社として関係を構築してまいりました。

今回、同社を子会社化することにより、これまで助言的行動の関係から、グループとしてのスケールメリットを活かせる体制に進化させ、山陽地域でのシェア拡大へ努めてまいります。

【会社概要】

名 称：株式会社ラブドラッグス
所 在 地：岡山県岡山市南区福富西1丁目20番32号
代 表 者：代表取締役社長 山崎 邦夫
資 本 金：2億60百万円
店 舗 数：41店舗（平成22年9月30日現在）



「マツモトキヨシ」と「ローソンストア100」の共同店舗オープン

当社と株式会社ローソンは、平成22年7月17日、それぞれのグループ会社が展開するドラッグストア「マツモトキヨシ」と生鮮コンビニ「ローソンストア100」の共同店舗をオープンいたしました。

この共同店舗は、ヘルス&ビューティーケア関連商品と生鮮食品とが一緒になった利便性の高さが魅力です。この店舗を皮切りにさまざまな形態の実験店舗を順次出店してまいります。



【概 要】

店舗名称：ドラッグストアマツモトキヨシ 浦安東野店
（ローソンストア100 浦安東野店と共同）
所 在 地：千葉県浦安市東野1丁目1番43号
営業時間：10時～24時（ローソンストア100は24時間営業）
取扱商品：医薬品・健康食品・化粧品・日用品・雑貨・食品等
（ローソンストア100は弁当・おにぎり・調理麺・ベーカリー・生鮮食品・調味料・雑貨等）

CSR活動

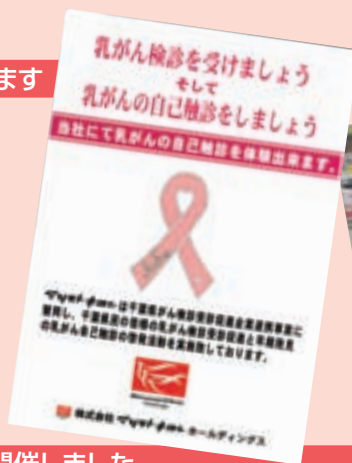
マツモトキヨシグループの社会貢献活動について

マツモトキヨシグループ行動規範——社会への貢献

当社グループは、お客様が健康で美しくあり続けるための企業として信頼されることを目指しております。経営理念の実現に向けて、考え、行動し、共感を得る社会貢献活動を実践します。

乳がん自己触診啓蒙活動を実施しております

当社グループでは、千葉県健康福祉部と協力して、乳がん自己触診の啓蒙活動を行っています。本社の受付や千葉県内のマツモトキヨシの店舗に「乳がん模型」を巡回して設置し、お客様に触れていただくことで、早期発見・治療にお役立ていただけるよう働きかけております。



「セルフメディケーションフォーラム」を開催しました

当社グループは、自分の健康は自分で守る「セルフメディケーション」を推進しております。その活動の一環として、「美と健康」・「健康な生活」に積極的に取り組まれている女性のお客様を対象として、セルフメディケーションフォーラムを開催しました。



●6月21日

- テーマ：「美と健康のバランス学 女性の魅力を引き出すカラダを動かす習慣づくり」
- 内 容：基調講演
1部「あきらめず、目標にむかう意義」
(講師：有森 裕子氏)
2部「女性の魅力を引き出す10の方法 自宅ですっきりエクササイズ」
(講師：増子 俊逸氏)
- 協 賛：明治乳業株式会社

●7月21日

- テーマ：「健康生活応援セミナー きちんと食べて、代謝のよいカラダを目指そう！」
- 内 容：基調講演「生活習慣病と食について」(講師：村岡 奈弥氏)
パネルディスカッション「アミノ酸と運動で脂肪燃焼」
(講師：荻原 次晴氏、田部井 淳子氏、勅使川原 郁恵氏)
- 協 賛：味の素株式会社

株式に関するご案内

単元未満株式の買増及び買取制度について

当社は、平成22年7月1日より新たに単元未満株式の買増制度を導入いたしましたので、ご案内いたします。

NEW

買増制度の概要

株主様が当社よりご所有の単元未満株式を単元株式（100株）へするために必要な数の株式を買増する制度です。

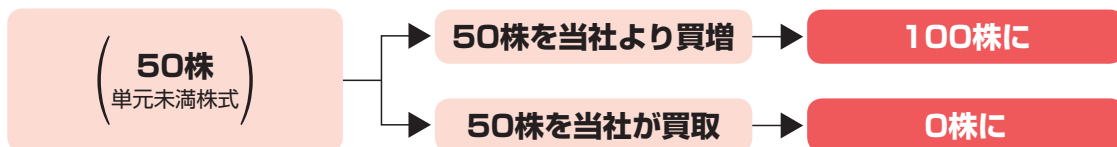
※3月31日・9月30日・その他機構が定める株主確定日等を含む各々それ以前の10営業日の間は受付を停止させていただくほか、当社が別途、買増請求期間を設ける場合がございます。詳細につきましては、お取引のある証券会社等にご確認ください。

買取制度の概要

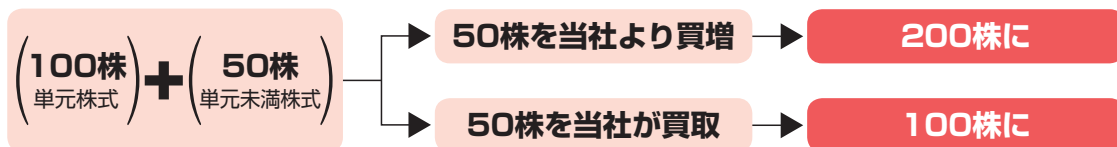
当社が株主様よりご所有の単元未満株式を買取る制度です。

買増制度及び買取制度の事例

当社株式を50株ご所有の場合



当社株式を150株ご所有の場合



手続方法

- 1 ご所有の株式を証券口座で管理されている株主様の場合 → 株式を管理されている証券会社へお問合せ下さい。
- 2 ご所有の株式を特別口座で管理されている株主様の場合 → 三菱UFJ信託銀行株式会社へお問合せ下さい。（連絡先：0120-232-711）

単元株式（100株）にすると次の事項が可能となります。

- 株主総会での議決権行使が可能となります。
- 当社の株主優待制度を受けることが可能となります。
- 市場で取引することが可能となります。

株式の状況・会社概要

(平成22年9月30日現在)

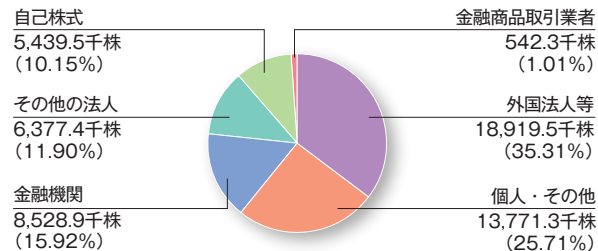
株式の状況

■発行可能株式総数	210,000,000株
■発行済株式総数	53,579,014株
■株主数	12,649名
■大株主（上位10名）	

株主名	保有株式数 (単位：千株)	持株比率 (単位：%)
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウント アメリカンクライアント(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	5,705.7	11.85
松本鉄男	5,615.4	11.66
松本南海雄	4,171.5	8.67
ノーザントラストカンパニーエイブイエフシーリニューエスタックス エグゼクティブペンションファンズ(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	2,192.0	4.55
株式会社千葉銀行	2,147.8	4.46
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	1,757.5	3.65
株式会社南海公産	1,743.5	3.62
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,209.5	2.51
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505223 (常任代理人 株式会社みずほコーポレート銀行決済営業部)	1,086.6	2.26
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,035.4	2.15

※当社の自己株式5,439.5千株は上記の表から除いております。

■所有株式数別状況



(平成22年9月30日現在)

会社概要

名 称 ● 株式会社マツモトキヨシホールディングス

所 在 地 ● 〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1

電 話 番 号 ● 047-344-5110 (代表)

設 立 ● 平成19年10月1日

資 本 金 ● 210億86百万円

事 業 内 容 ● 子会社の管理・統括および商品の仕入・販売

従業員数(連結) ● 正社員： 5,137名
パート： 6,710名 (8時間換算)
合 計：11,847名

役員

代表取締役会長兼CEO	松 本 南海雄
代表取締役社長兼COO	吉 田 雅 司
専務取締役兼CFO	成 田 一 夫
専務取締役	松 本 清 雄
取締役相談役	松 本 鉄 男
取締役	根 津 孝 一
社外取締役	大 爺 正 博
社外取締役	小 林 諒 一
社外取締役	湯 浅 紀 男
監査役(常勤)	大 森 哲 夫
社外監査役	鈴 木 哲
社外監査役	諸 星 健 司
社外監査役	田井村 政 人

本社



株主メモ	
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月中
1単元の株式数	100株
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
株主名簿管理人 特別口座の管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL.0120-232-7111（通話料無料）
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部（証券コード3088）
公告の方法	電子公告 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/3088/3088.html ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

「株主アンケート」ご協力をお願い

今回、本報告書に「株主アンケート」を同封しております。
ご協力下さいますようお願いいたします。

株主優待制度拡充のお知らせ

平成22年11月12日開催の取締役会において、当社の株主優待の贈呈回数を
年1回から2回に変更することを決議いたしました。

つきましては、マツモトキヨシの全店舗でご利用いただける「商品券」を
同封いたしましたので、是非ともご利用くださいますようお願いいたします。

株式会社 **マツモトキヨシ** ホールディングス

<http://www.matsumotokiyoshi-hd.co.jp/>

〒270-8511 千葉県松戸市新松戸東9番地1

TEL. 047-344-5110（代表）

